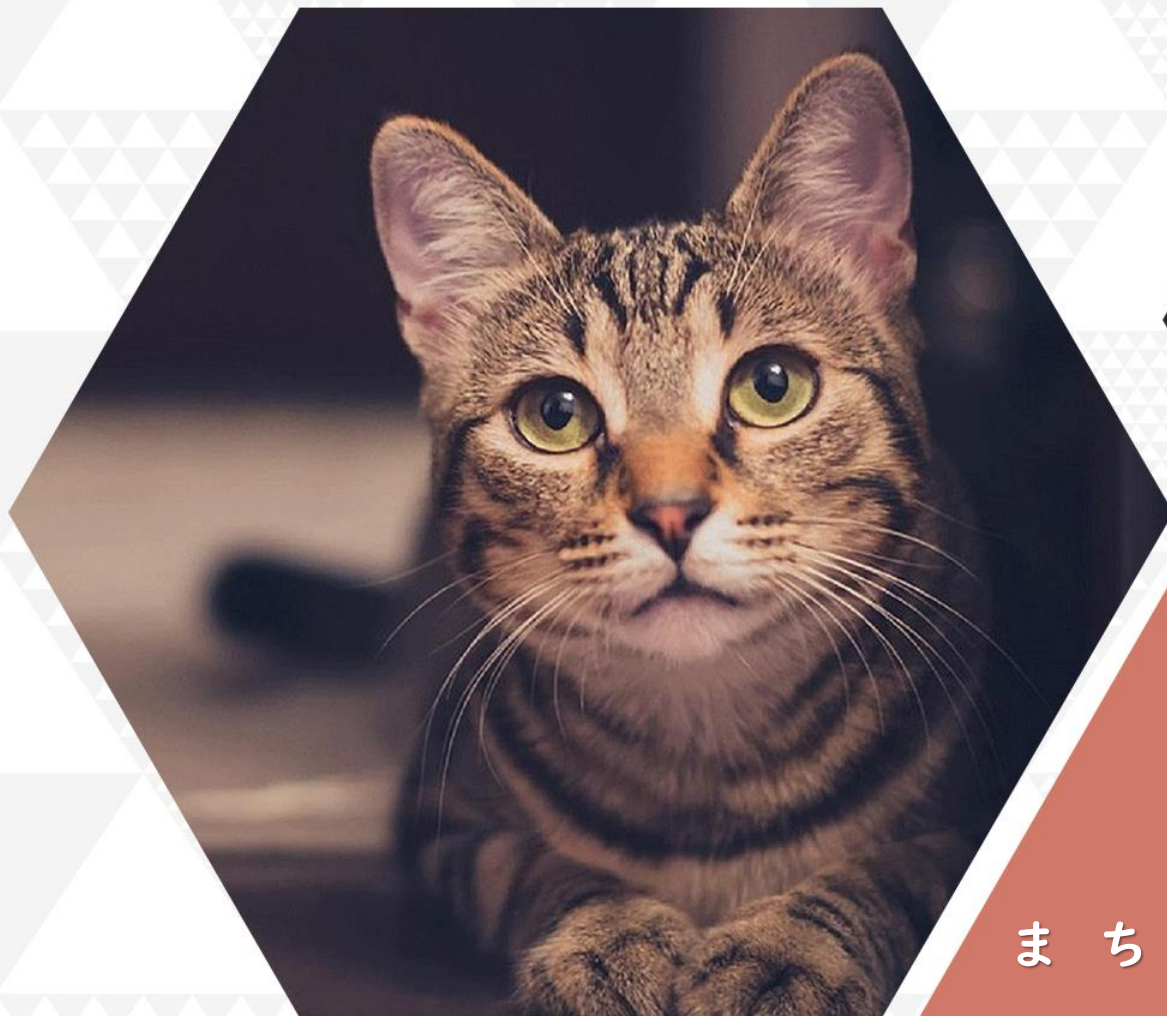




まちづくりを考える日

南殿町地域猫活動

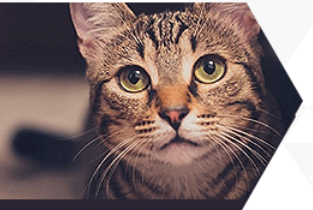
南殿町町内会 会長 坂本拓三



地域猫活動について

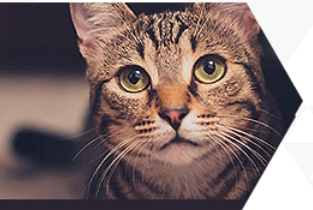
1. 事業の経緯
2. 事業の概要
3. 事業の成果と課題
4. 町内会の主な活動

事業の経緯



- 鳩、ヌートリア、あなぐま等の動物被害
- 特に現在は野良猫（捨て猫）
ふん 花壇菜園を荒らす 発情期の夜鳴き
- 猫は繁殖力が強い
年間2－3回妊娠 1回に5－6匹の子猫を生む
生後6か月から妊娠可能
- 動物愛護法の改正
活動当時 保健所に罾を借りに行くが、もう貸せないとのこと
野良猫の引き取りもできない
しかたがないので「餌をやらないで」ポスター貼り出し
カラコロ工房・県民会館・松江城があり 効果なし
- 獣医さんと屋外BBQ中にTNR（地域猫）活動のことを聞く

事業の概要



TNR地域猫活動とは

♥ Trap 捕獲 夕方に罠を仕掛けて明け方回収 動物病院へ

♥ Neuter 不妊手術 子猫は蚤・寄生虫の駆除後
エイズ白血病の検査 譲渡

♥ Return 猫の耳をさくらの花びら状に切り込みいれて放す

(公) どうぶつ基金 さくらねこ♥TNR先行型地域猫活動

1匹あたり平均1万円程度の費用が掛かる

1年間で20-30匹程度の捕獲

1年間ぐらいで知恵がつき、罠にかからなくなる

理想的には100%の捕獲が望ましいが、継続的な活動は猫好きでないと大変

事業の成果と課題



- 動物愛護法の範囲で猫（えさやりさん）と住民との共存を図ることができた
- とりあえず野良猫は増えなくなったが、松江城からの捨て猫流入があるので継続して活動することが望ましい
- 補助制度・クラウドファンディング等があり、資金調達は何とかなりそう
- 継続して実施するには「ひと」の問題
- 動物愛護団体（しあわせサポート犬猫部さん他）も手一杯だがSNS等の活用が可能性としてある

町内会の主な活動



01 伝統の継承

松江祭どう行列の技術継承

02 住民間の懇親

コロナ禍で途絶えた敬老会、婦人会、子供会、体育大会等

03 行政との中継ぎ

民生児童委員、福祉推進員、公民館との連絡、土木要望、各種会費の集金

04 町内の活性化

一畑百貨店跡地の有効利用、子ども食堂
商店会イベントへの協力

05 その他

老朽化した町内会館の建替え、旧マルク家具店の除去



ご清聴
ありがとうございました